



2 学期スタート！～体と心が成長する 84 日～

8 月 24 日（月）本宮小学校の 2 学期がスタートしました。

いつものように 7 時 30 分ごろから校舎の前に立って子供たちを迎えました。みんな元気に笑顔で学校に来る姿を見てうれしくなりました。毎日、同じ時間に学校前に立っているの、どの子供が何時頃来るか大体分かるようになりました。初日のこの日は、子供たちがいつもより 5 分ほど早く登校したように感じました。これは、子供たちの「やる気」の表れだと私は思っています。

始業式では、元気いっぱいの子供たちに次のような話をしました。

今日からいよいよ 2 学期のスタートです。今日、この体育館でみんなと元気に会えたことを、とてもうれしく思います。

さて、31 日間の長い夏休みはどうでしたか？1 学期の始業式で、校長先生はみんなにこんな話をしました。「家族のために『宝積』につながる行動をしてみてください。」と話しました。どうだったでしょうか？どんなことをしたのか、あとで校長先生に教えてください。

今日から始まる 2 学期は、1 番長い 84 日間の学期となります。9 月には 5 年生の林間学校、10 月には 6 年生の修学旅行、11 月には 4 年生の連合音楽会など、行事もたくさんあります。この 84 日間の間に、一人一人が成長できるようにがんばりましょう。

真剣に話を聞く子供たちの姿を見て、これからの 2 学期の活動が楽しみになりました。保護者の皆様、地域の皆様と協力しながら、子供たちの成長を見守っていきたいと思います。

元気に登校した子供たち。2 学期は全校児童 504 名でスタートしました。



校長先生の夏の思い出。「ポケふたスタンプラリー」集めたスタンプは、まだ 13 個・・・



どの学年も話の聞き方がすばらしい！！真剣な表情で聞いています。



ようこそ！未来の先生～教育実習スタート～

未来の学校現場を担うことを夢見て教員を目指している4名の大学生を8月24日（月）から本校で受け入れ、教育実習を行っています。9月18日（金）までの4週間（石井さんは9月4日（金）までの2週間）、子供たちと生活を共にし、学びを深めます。5年3組に石井さゆりさん、3年3組に佐々木吹騎さん、2年3組に高橋凜さん〔本宮小出身〕、6年2組に坂本仁史さん〔本宮小出身〕の4名がそれぞれ配属されました。

実習が始まって1週間ですが、それぞれの教室で実習生が授業を行っていました。何とか子供たちに伝えようと一生懸命授業を進める実習生と、それに応えようと普段より集中して授業に向かう子供たちの姿がありました。実習期間を通じて、実習生本人はもちろん子供たちにとってもよい出会いにしていきたいです。



- ① 趣味 ②好きな食べ物 ③苦手な食べ物
④ 座右の銘 ⑤教育実習への豊富

★高橋 凜 さん

- ① 料理
② すいか
③ ピーマン
④ 七転び八起き
⑤ 教員としての授業の組み立て方や教材研究の工夫、発問の仕方に加えて、担任として児童との関わり方や教室づくりなど、現場で学べることを目一杯学びたい。



★坂本 仁史 さん

- ① 畑でにんにくを育てること
② レバニラ炒め、りんご
③ ハッピーターン
④ 一陽来復
⑤ みんなと仲良くなること、思い出に残るような教育実習になるように、頑張ります!!



★石井 さゆり さん

- ① さんさ踊り（大学のサークルに所属しています）
② オムライス、肉まん
③ なんでも食べられます！
④ 雲外蒼天
⑤ 本宮小学校のみなさんと一緒に勉強したことを将来に繋げられるようにがんばります。2週間という短い期間ですが、よろしく願います。



★佐々木 吹騎 さん

- ① 海外サッカー観戦、カフェ巡り
② レアチーズケーキ、バスチーズケーキ
③ なす、あんこ、お餅
④ 成せば成る
⑤ 子供たちと関わりながら、どのようにコミュニケーションを取れば自分と話したいと思えるようになるのか学びたい。今回の実習で学んだことが教員となった時の指導の土台としていきたい。



校長室の窓から （盛岡市医師会との懇談会）

8月25日（火）に、「令和8年度盛岡市教育委員会等と盛岡市医師会との懇談会」に出席してきました。この会は、市内小中学校の学校医等をしてくださっている医師会の皆様、盛岡市教育委員会、校長会が参加して、盛岡市医師会から盛岡市教育委員会への質問・要望事項や、盛岡市校長会から盛岡市医師会への質問等について、協議する会でした。

その中で、「児童生徒の SNS 等の利用と非認知能力の発達とのかかわりについて」という質問があり、医師会から興味深い話がありましたので紹介します。

① 共感性について

他者の気持ちを理解し、共感する際に働く「共感の脳ネットワーク」は、対面でのやり取りを通じて発達します。対面での会話では、お互いの脳活動が時間的に一致する「シンクロ（同期）」という現象が起こり、これが心と心を繋ぐ基盤となりますが、Zoom などのリモート環境ではこの脳の同期が100%起こらないことが実験で証明されています。

② 非認知能力を阻害する要因

毎日スマートフォンやタブレットを長時間使用する子供は、前頭前野、側頭葉、頭頂葉など、脳の約3分の1の領域で発達が止まってしまうという深刻なデータが得られています。スマホ依存症にある子供は、自尊心が低く、不安や抑うつ傾向が高まり、共感性や感情制御能力が低下します。

この話を聞いて、対面でコミュニケーションを取る大切さや、スマートフォンやタブレットの使い方について、考えさせられました。盛岡市は「スマホルール7か条」を作成して家庭での取組を呼びかけています。ご家庭でも、再度話題にしてみてください。